

臨床研究情報公開(オプトアウト)

1. 研究の名称

当院に入院となった2型糖尿病患者のグルカゴン値の評価

2. 研究責任者及び職名

糖尿病内科部長 森本二郎

3. 研究の目的・意義

血糖値を調整するホルモンとして、グルカゴンは最も重要なホルモンの一つです。長年使用されてきたRIA法によるグルカゴン値の測定は制度の問題があり糖尿病患者の病態評価には用いられていませんでしたが、2018年に精度の高い測定方法(サンドイッチELIZA法)による血中グルカゴン値測定が保険適応となり2型糖尿病の病態評価に用いられるようになりました。当院でも糖尿病で入院された患者でグルカゴン値を測定・評価し治療方針の決定に役立っていますが、これまで2型糖尿病の罹病期間、BMI、HbA1c、等とグルカゴンの関係についてはほとんど知られておらず、グルカゴン値の高低をどのように治療に反映させるかについては正式なコンセンサスが得られていません。当院に入院となった2型糖尿病患者さんで、サンドイッチELIZA法を用いてグルカゴン値を測定した患者を抽出し、グルカゴン値と様々な臨床データの関連性を後ろ向きに調査します。

4. 研究の方法・期間・対象・評価項目

方法：入院中に測定されたグルカゴン値と他のパラメーターの関連を調べる

期間：2018年1月から2022年6月

対象：上記の期間に当院に入院となった2型糖尿病患者

主要評価項目：体重、HbA1c、罹病期間、BMI、CPRとグルカゴン値の関係

副次評価項目：肝機能、脂質、家族歴、肥満歴とグルカゴン値の関係

5. 費用負担、個人情報の取扱い

本調査において患者さんの費用負担は一切ありません。採取した診療情報は、患者氏名、生年月日、カルテ番号、住所、電話番号を消去し、代替する登録番号にて連結可能匿名化します。登録番号と被験者個人を連結する対応表は、外部と接続でき

ないパソコンで管理し対応表のファイルにはパスワードを設定します。

6. 研究対象者からの相談対応、問い合わせ先

本研究への参加(診療情報の利用)をご希望されないこととお申し出いただいた場合、お申し出に従いその患者さんの情報を利用しないようにします。ご希望されない場合、あるいは不明点やご心配なことがございましたら、下記の問い合わせ窓口にご連絡ください。情報提供を希望されない場合でも、治療上何ら支障はなく、不利益は被りません。ご自身以外の代理人からの申し出にも対応致します。また、ご不明な点がございましたら、下記の問い合わせ窓口までお申し出ください。

埼玉メディカルセンター 糖尿病内科 森本二郎
電話:048-832-4951